



条幅規定

成家松原華月

造像体の書風を基盤に堅実な作品です。無理のない安定した運筆から生み出された線とまわりの余白がよく響き合い、骨力のある爽快な作品です。成家として更なる研鑽を期待。

条幅随意

師範正
加瀬
汀扇

かなな構成を主に流れ
良く、字間の疎密、文字
の変化がうまくマッチし、
詩情を意識しながらも氣
脈の通った生命感のある
作品で、澁みがなく余情
さえ感じられる。

条幅随意（臨書）

師範 福田喜久恵

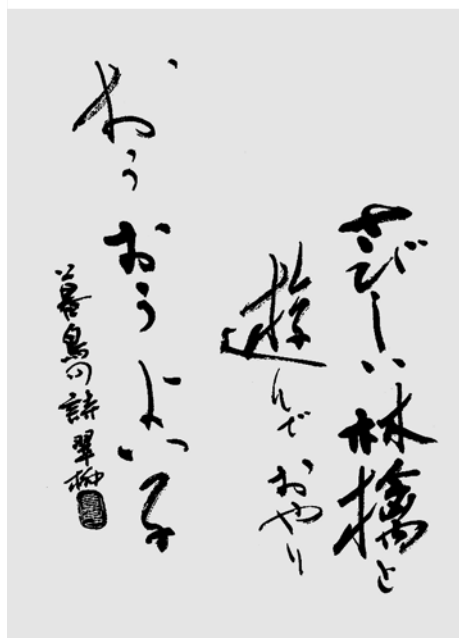
雁塔聖教序の懷の広さ
やまわりの空間の白がよ
くきいて、形だけではな
くこの古典のもつ雰囲気
まで理解し、よく表現さ
れた力量はさすがである。
作者の氣宇まで感じとれ
る。



半紙規定

師範 檜橋 篤子

紙への接触が絶妙なタッチで、線の質もとても綺麗で美しい印象的な作品です。流れを意識する、ほど良い緊張感が品格を高めている。



半紙随意

師範 重富 翠柳

詩情をよく理解し、紙面を捉える空中での筆致が見事で、筆が良く活躍している。奇抜な表現をおさえ、正当派の作品に好感が持てる。



半紙随意(臨書)

師範正 釘丸 華丘

原帖の特徴をよく捉え、表情豊かな造形と独特のリズムのとり方に技術の高さを感じる。左払いの穂先にもう少し留意すると更に佳。



半折1/2縦

師範正 田尻 白華

思い描くままに筆を運び、造形にも妙味があります。や、一行の大字の呼吸の深さと長さにくらべ二行目の細字の呼吸が短かったような気がする。今後の課題であろう。精進を。



学生部条幅 (1/4)

中一 準六段 吉留 佳歩

堂々とした、存在感のある作品です。行書の流れにも慣れ、書く楽しさを感じます。継続は力なりですね。今後、さらに期待しています。

小柳 文乃

小二 4級

紙いっぱい、あやさんの元気があふれています。名前もよく練習ができています。これからもがんばってください！

池田 宝

小三 初段

力のこもった思い切りのよい線で名前までどうしようと、バランスよく書いています。宝くんの自信と書く楽しさを感じます。

西 菜々深

小五 六段

やさしさのある線で漢字と平仮名がバランスよく書いています。日頃の努力の成果ですね。今後は、力強さが加わることを期待します。

木原 澤菜

小五 準二段

素直な線で、本文・名前ともにいいねに書いていて好感の持てる作品です。この「線」を大切に、これからがんばってくださいね。

古川 紗也

小六 二段

基本の筆づかいがしっかりと身についた、明るく伸びやかな作品です。今後は、流しな、上位有段者に負けない力量の持ち主です。

前原 侑佳

中一 二段

ねばりのある気のこもった線、形よく、まとまりのある作品です。今後は「流れ」を意識し、リズムに乗って書きましょう。

黒松みのり

小一 8級

力つよく、おもいきりのよいせんで、元氣よくのびやかにかけましたね。おしゅうじのたのしさがあふれたさくひんです。

山下 凜

小四 7級

あたたか味のあふれる線、バランスよく書いていて、上位有段者に負けない力を持っています。これから楽しみに人です。期待大。

土屋萌々花

小六 準特待生

明るくすっきりとした線が、とても魅力的な作品です。「ハライ」を最後まで気をぬかずに書くことができました。期待しています！

江藤 結菜

中二・三特待生

リズムに乗った無理のない自然な筆運びが作品に生命感をあたえています。さすが「特待生」、熱心な日頃の努力の成果ですね。

硬筆部最優秀作品

(9月29日締切分)

(坂元紫香先生評)

「みず」のなが
れるようすから
「水」というかん
じができました
たけ本このは

点字は、リイブライユと
いう人が考え出したもの
です。日本では、五十音に
組みかえて使っています。

「田んぼが、詩に書かれた田んぼの
ように、かがやいて見えましたよ。」
と、昔の教え子たちが言う。苦しい
農作業の中に、楽しさを見つける。
工夫すること、喜びを見つける。

日常使っている言葉には、中国の古
典に由来するものがたくさんある。
わたしたちの祖先は、そこから名句、
名言を抜き出し、座右の銘にしたり、
話や文章に生かしたりしてきた。

一日のおわりには
どうぶつを見て
気がついたことを
日記に書きます。

そのよく年も残雪は、大群を
率いてやって来ました。そして、
例によって、ぬま地のうちでも
見通しのきく所をえさ場に
選んで、えさをあさるのでした。

「田んぼが、詩に書かれた田んぼの
よつに、かがやいて見えましたよ。」
と、昔の教え子たちが言う。苦しい
農作業の中に、楽しさを見つける。
工夫すること、喜びを見つける。

清水の舞台にふとんぼが舞い、蝸が
聞こえた。秋の気配するのけ甘いの
だが、時が連れ去るのも暑く寒くさ
あ、川面の京名物、納涼床に気持ち
だけでも、転がし、優しい季節を持っ

との様の国と、となりの
国の真ん中にある湖の
水を、半分ずつ分けて、
田に引きたいのです。

そのよく年も残雪は、大群を
率いてやって来ました。そして、
例によって、ぬま地のうちでも
見通しのきく所をえさ場に
選んで、えさをあさるのでした。

日常使っている言葉には、中国の古
典に由来するものがたくさんある。
わたしたちの祖先は、そこから名句、
名言を抜き出し、座右の銘にしたり、
話や文章に生かしたりしてきた。

お金にふり振るにお金、大変な
思ひ、幼少の頃は環境規制もさほど
厳しくなく、雲が数多く流れたもの
です。初盆の八月十五日の夜は、家族で親
戚の人達で精霊流しして、霊が安らかに
昇天できるようにお祈りしました。

武本 瑚巴 小一 準6級
おてほんをよく
かんさつできま
したね。なまえ
までいっしょ
けんめいにか
けています。お
いこのたのし
さをかんじます。

北村 友佳 小四 初段
ペンを上手に使
い、お手本の細
な点までよく観
察して、力のこ
もった線です。
かりと書けてい
ます。これから
楽しみな人です。

定宗 穂花 小六 五段
行の中心が少し
おしいのですが、
一生懸命に練習
の出来た力強い
作品に好感が持
てます。今後は
ペンへも挑戦し
頑張ってください。

松田 実久 中学 六段
漢字と平仮名の
バランスが良く、
明るくまとまり
のある作品です。
起筆を押さえず
きた点に気を付
けて、さらに飛
躍してほしい。